



昨年大好評の「月」「ウサギ」の巨大アートが今年も下北沢に！屋上からのお月見などパワーアップ！

## 9月16日～10月1日「ムーンアートナイト下北沢2023」を開催

地域プレーヤーによる約50企画が集結し、魅力発信や地域の賑わい創出を支援します

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）と下北沢商店連合会、スタートバーン株式会社（本社：東京都文京区 代表：施井 泰平）は、2023年9月16日（土）から10月1日（日）まで、シモキタの街を舞台に、「月」をテーマにしたアートフェスティバル「ムーンアートナイト下北沢2023」を開催します。初開催ながら約32万人※が街を訪れた昨年に続き、フェスティバルのシンボル作品である「月」と「ウサギ」の屋外展示のほか、現代アーティストの鬼頭健吾氏など5人のアーティスト作品が街を彩ります。また、下北線路街を含む地域に根差した施設・店舗による特別イベントの実施や限定メニューの提供等約50企画が集結するほか、街の風景と3DアバターNFT「Metaani」がコラボレーションしたNFTスタンプラリーを実施し、アートで地域を盛り上げます。 ※ KDDI Location Analyzerによるスマートフォンの位置情報を元に集計

本企画は、地域と共創するシモキタエリアの秋の風物詩として、地域プレーヤーによる魅力発信や賑わい創出を支援するアートフェスティバルです。

### 月の作品は毎日、ウサギは最長約14mの大きさへ一層迫力を増して登場

シンボル作品として、「下北線路街 空き地」には、イギリスのアーティスト Luke Jerram（ルーク・ジェラム）が手掛けたNASAの月面写真を基とした直径7mの「Museum of the Moon」が、「BONUS TRACK」と「カトリック世田谷教会」には、オーストラリアを拠点とするアーティスト Amanda Parer（アマンダ・パーラー）が手掛けるウサギの姿を模した「Intrude」が登場します。昨年土日のみの展示だった月のアートは毎日に、ウサギのアートは最高7mから最長約14mへ一層迫力を増して登場します。新たな展示場所となるカトリック世田谷教会では、立ちポーズと毛繕いをする2種類のウサギが聖母マリアさまに見守られるように展示され、温かい光に包まれる洗練された空間が広がります。

また、普段は入ることが出来ない「東北沢駅屋上」では開放的なスペースを生かして、フラフープを題材にしたインスタレーションや絵画作品などを手掛ける鬼頭健吾氏による、色とりどりの棒が集結するインスタレーションを展示します。さらに、9月30日（土）と10月1日（日）には、空に浮かぶ月と星空を眺める天体観測会を開催します。星空解説員が初心者にも分かりやすく、中秋の名月やその時期の星空の見どころ等を紹介し、秋夜の気持ち良い心地の中でご家族やご友人とゆったりした時間をお過ごしいただけます。



昨年の様子

（左）「Museum of the Moon」

（下北線路街 空き地）

（右）「Intrude」（北澤八幡神社）

Intrude by Amanda Parer. Image Masataka Tanaka.

## シモキタ回遊 NFT スタンプラリーや地域の施設・店舗による約 50 の特別企画を実施

本フェスティバルではデジタルアートの NFT スタンプラリーをお楽しみいただけるほか、地域の施設・店舗による限定メニュー提供や特別イベント等約 50 企画を実施します。

NFT スタンプラリーでは、ザ・スズナリ（劇場）等下北沢に古くからある施設や、「下北線路街」「ミカン下北」などの開発によって生まれた新しい風景と 3D アバター NFT「Metaani」がコラボレーションした 10 種類のオリジナル NFT を獲得いただけます。さらに、小田急線が地上を走行していた当時の、今は見られない風景と Metaani がコラボレーションした特別なデジタルアート NFT もご用意しています。下北沢の街中にバランスよく配置された QR コード※を、FUN FAN NFT 専用サイトで読み取ることで獲得いただけ、街を巡りながら宝探し感覚でお楽しみいただけます。 ※ QR コードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です

その他、シモキタエリアの施設・店舗が、グルメ、映画、ワークショップ、体験などさまざまなジャンルで「月」や「ウサギ」などをテーマにした商品や企画を手掛けます。初日の 9 月 16 日に「下北線路街 空き地」の野外ステージでは、55 周年を迎えるウルトラセブンと下北沢映画祭のコラボレーション企画として、ウルトラセブンの野外上映会を開催します。ここでしか出会えない限定フードやドリンクを片手に、芝生に座って、ご家族で特別な時間をお楽しみいただけます。また、今年の中秋の名月である 9 月 29 日には、「Intrude」の展示会場であるカトリック世田谷教会で、お団子作り体験やライブパフォーマンスを開催し、昔ながらのお月見をお楽しみいただけます。

本企画は昨年、地域と共創して「月」をテーマに大人から子どもまで幅広い世代がまち歩きを楽しみながら下北沢の魅力を発見いただける地域密着型のアートフェスティバルとして初開催しました。今年は、さらにコンテンツの充実や街全体でフラッグを掲げる等地域の一体感や祝祭感の創出を図り、コミュニティの醸成を目指します。その一環として、昨年 NFT スタンプラリーに参加していただいた方には有料 NFT チケットを無料で配布するなどつながりの強化にも繋がります。本イベントは継続的に実施することで、地域プレーヤーのさらなる参加を促すとともに、来場者の参加型要素を増やして、地域に根差し持続的な地域活性化につながるイベントを目指してまいります。



NFT スタンプラリーのデザイン



屋外映画祭のイメージ  
(下北線路街 空き地)



下北線路街 空き地で販売  
する限定ドリンク

## 「ムーンアートナイト下北沢 2023」概要

- イベント名 ムーンアートナイト下北沢 2023
- 開催日 2023年9月16日(土)～10月1日(日)  
※ 時間は各施設により異なります  
屋外イベントは小雨決行、雨天中止
- 場所 下北線路街、カトリック世田谷教会、シモキタエリアの施設や店舗など
- 体制 【主催】小田急電鉄株式会社、下北沢商店連合会、スタートバーン株式会社  
【後援】世田谷区  
【協力】カトリック世田谷教会  
【助成】公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京(ライフウィズアート助成)
- 概要 ムーンアートナイト下北沢 2023 は、月をテーマに、5人のアーティスト作品が街を彩ります。下北沢の街の風景と人気アバター「Mettani」によるオリジナル NFT スタンプラリーを実施するほか、個性的な店主が手掛ける限定メニューの提供や特別イベントの開催等、約50企画が集結しアートで街を盛り上げるフェスティバルです。



### ■アート作品の展示 ※順不同

アーティスト名	作品名(概要)	展示場所	時間
Luke Jerram	Museum of the Moon (月のインスタレーション)	下北線路街 空き地	15:00-21:00
Amanda Parer	Intrude (ウサギのインスタレーション)	BONUS TRACK(隣接駐車場)、カトリック世田谷教会	15:00-21:00
鬼頭 健吾	Lines	東北沢駅屋上 ※ 有料	15:00-21:00
Metaani	NFT スタンプラリー	下北沢エリア各所 ※ 一部有料	15:00-21:00
天野雛子	how do you feel?(展覧会)	下北沢アーツ	13:00-17:00 休廊日:月・火・水

- 入場料 無料(一部有料)  
※ 東北沢駅屋上への入場は有料チケット(税込500円)が必要となり、9月1日から販売します。以下にて詳細をご確認いただけます。  
[https://senrogai.com/event/moonartnightsfes\\_ticket](https://senrogai.com/event/moonartnightsfes_ticket) (9月1日公開予定)

#### 【チケットに含まれる内容】

- ① 鬼頭健吾氏の作品展示場所への入場券(NFTスタンプラリー1箇所含む)※
- ② 9月30日、10月1日に東北沢駅屋上で実施する天体観測会の参加券
- ③ NFTスタンプラリーの周遊マップ ※
- ④ 「下北線路街 空き地カフェ&バー」で提供するオリジナルドリンクの200円割引券  
※ NFTスタンプラリーには無料でご参加いただけます

地域プレーヤーによる企画等、詳細はムーンアートナイト下北沢 2023のサイトにてお知らせします

URL <https://moonartnightfes.com/>

## 【Info】第7回 アート&デザイン新世代賞 「人新世」をテーマに作品を募集します

Design Stories（主宰：辻仁成）、SHIMOKITA COLLEGE 新世代賞実行委員会、小田急電鉄は、作家の辻仁成氏が創設した「アート&デザイン新世代賞」（以下「新世代賞」）の第7回のテーマを「人新世」に決定し、7月11日（火）から作品を募集しています。最優秀作品は小田急線車内のサイネージ（小田急TV）に展示します。

第7回 アート&デザイン新世代賞の概要は以下のとおりです。

タイトル 第7回 アート&デザイン新世代賞

概要 新世代賞は、芸術家、デザイナー、建築家などを指す25歳以下の若いクリエイターのための新人賞です。2017年に作家でDesign Stories主宰の辻仁成氏が立ち上げ、2022年まで6回実施してきました。2021年の第5回新世代賞から、Design Stories、SHIMOKITA COLLEGE 新世代賞実行委員会、当社の三者で運営を担っています

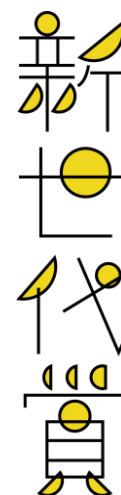
作品テーマ 人新世

募集期間 2023年7月11日（火）～9月10日（日）

応募方法 Webマガジン「Design Stories」から応募いただけます  
<https://www.designstoriesinc.com/worldfood/shinsedaishou/>

授賞式 2023年9月16日  
・最優秀賞（1点）：賞金 30万円  
・優秀賞（1点）：賞金 10万円  
・観客賞（1点）：賞金 5万円  
・SHIMOKITA COLLEGE 賞（若干名）  
：作品をSHIMOKITA COLLEGEで一定期間展示します

展示 期間：授賞式後、1週間程度を予定  
場所：小田急線車内のサイネージ  
※ 最優秀作品が展示対象となります



以上

## 「下北線路街ニュース」について

小田急電鉄は、小田急小田原線の代々木上原駅から梅ヶ丘駅間の鉄道地下形式による連続立体交差事業（事業者：東京都）および複々線化事業により新たに創出された鉄道跡地約 1.7km にわたる開発エリアの名称を「下北線路街」とし、2022年5月までに13の施設を整備してきました。

現在はエリアマネジメント活動によるまちづくりを推進し、これらのイベント情報やエリアマネジメントなどまちづくり全般の情報を、「下北線路街ニュース」として配信します。

## 「下北線路街」について

1. エリア名称 「下北線路街」



下北線路街

2. 対象エリア 小田急小田原線 東北沢駅～世田谷代田駅
3. 敷地面積 約 27,500 m<sup>2</sup>  
※ 連続立体交差事業および複々線化事業に伴う世田谷区・渋谷区内の土地  
※ 交差道路、鉄道施設にかかる面積は除く
4. 開発テーマ 「支援型開発」 “変える”のではなく、街への“支援”を目指して。
5. 開発コンセプト 「BE YOU.」 シモキタらしく。ジブンらしく。

いろいろな人が、自分らしく生きている街、シモキタ。  
ここまで多様性にあふれている場所は、日本中を見渡しても、そうそう存在しません。  
そんなシモキタの魅力がそのまま未来に息づきながら、  
より多くの人がつながり合って、それぞれの心地いい場所がふえていく。  
そのためのきっかけをつくったり、新たなチャレンジを後押しできる拠点となることを目指して、  
当開発プロジェクトは走り出しました。

6. 公式サイト URL: <https://senrogai.com/>

## 「下北線路街」各施設の概要



No.	名称	概要	開業時期	規模 (㎡は延床面積)
01	リージア代田テラス	豊かな世田谷ライフを叶える テラスハウス	2016年2月	2階建 約700㎡
02	世田谷代田キャンパス	食でつながる地域の コミュニティハブ	2019年4月	2階建 約400㎡
03	CAFÉ KALDINO	世田谷代田にゆかりのある企業に よるベーカリー&カフェスタンド	2020年1月	2階建 約300㎡
04	温泉旅館 由縁別邸 代田	都心に突如現れる温泉旅館	2020年9月	2階建(一部3階) 約2,000㎡
05	世田谷代田 仁慈保幼稚園	地域とつながる 保育施設&コミュニティの場	2020年4月	2階建 約1,400㎡
06	BONUS TRACK	新たなチャレンジや 個人の商いを応援する長屋 (住宅・商業)	2020年4月	2階建 約900㎡
07	SHIMOKITA COLLEGE	新たな出会いと学びを提供する 居住型教育施設(学生寮)	2020年12月	5階建 約2,500㎡
08	NANSEI PLUS	これからの暮らしを考える 駅前の新しいカタチ	2022年5月	約3,460㎡
09	シモキタエキウエ	シモキタならではの 多様性あふれる商業施設	2019年11月	2階建 約1,500㎡
10	下北線路街 空き地	みんなで作る自由なあそび場	2019年9月 (当面の間)	約1,400㎡
11	reload	洗練された個店が集まる 次世代型の商業ゾーン	2021年6月	2階建 約1,900㎡
12	ADRIFT	シモキタカルチャーを加速させる エンタメカフェ	2021年9月	1階建 約400㎡
13	MUSTARD HOTEL SHIMOKITAZAWA	さまざまな人が集まる都市型ホテル	2021年9月	2階建 約1,700㎡